

学校評価アンケート結果

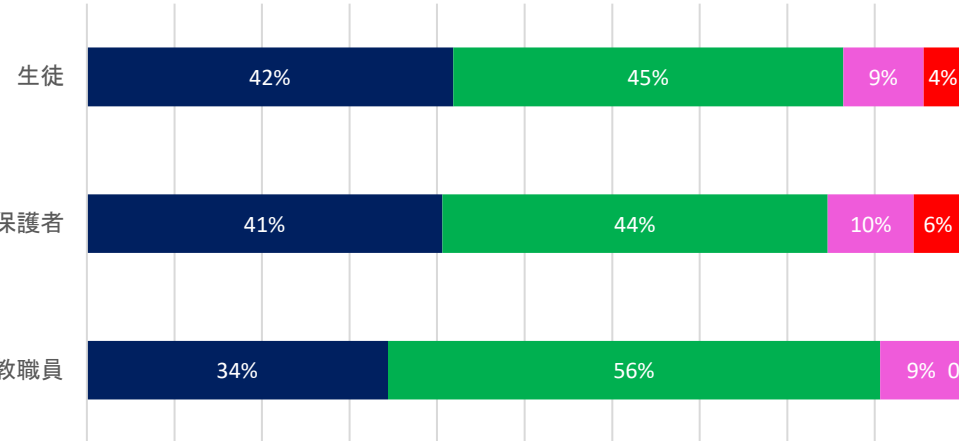
生徒 338人 中294人 回答
保護者 328世帯中229世帯回答
教職員 32人 中32人 回答

No.1

1. おおぐろの森中学校の生徒は、楽しく学校に通っている。

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

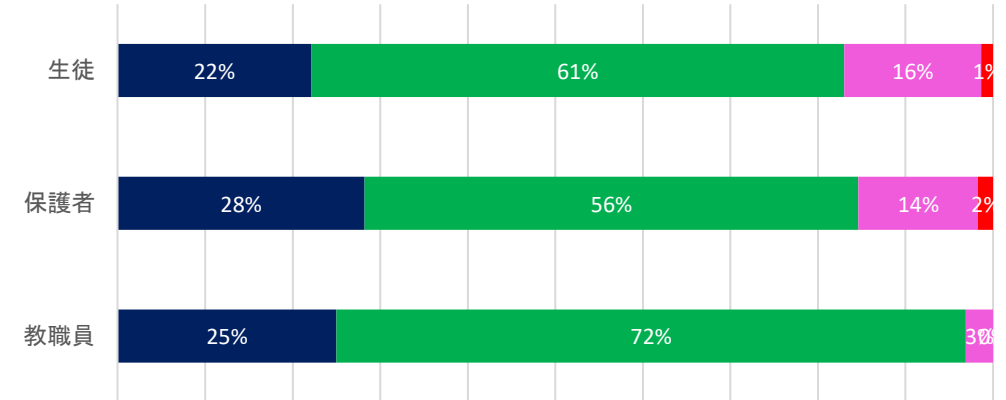
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



2. おおぐろの森中学校の生徒は、自ら考え選択して行動している。(自律)

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

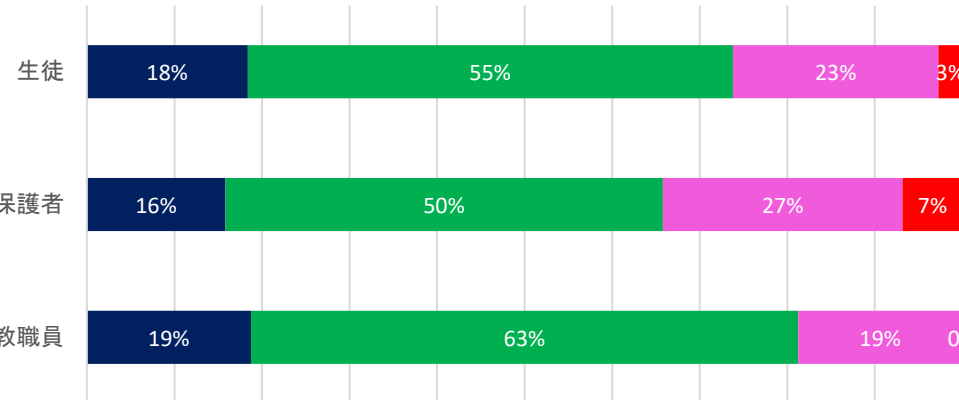
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



3. おおぐろの森中学校の生徒は、自らの学習や生活の目標を設定し、自ら考え、選択して生活している。(自立)

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

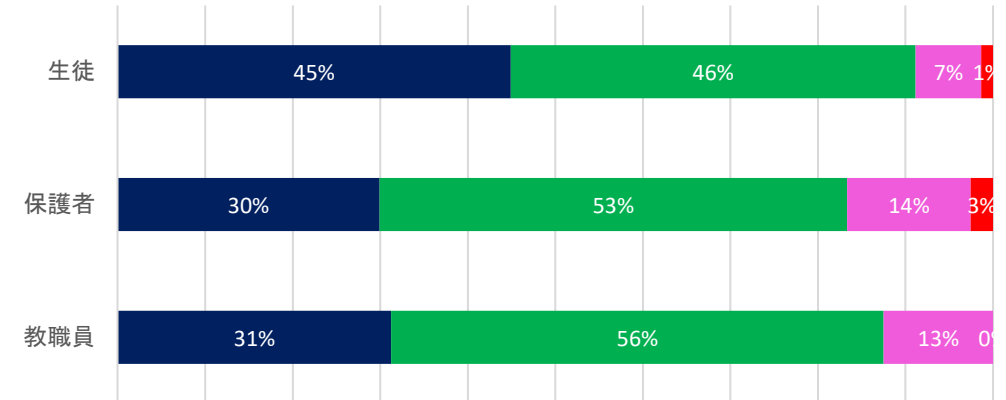
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



4. おおぐろの森中学校の生徒は、友達と力を合わせ、学習や学校行事に取り組んでいる。(協働)

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

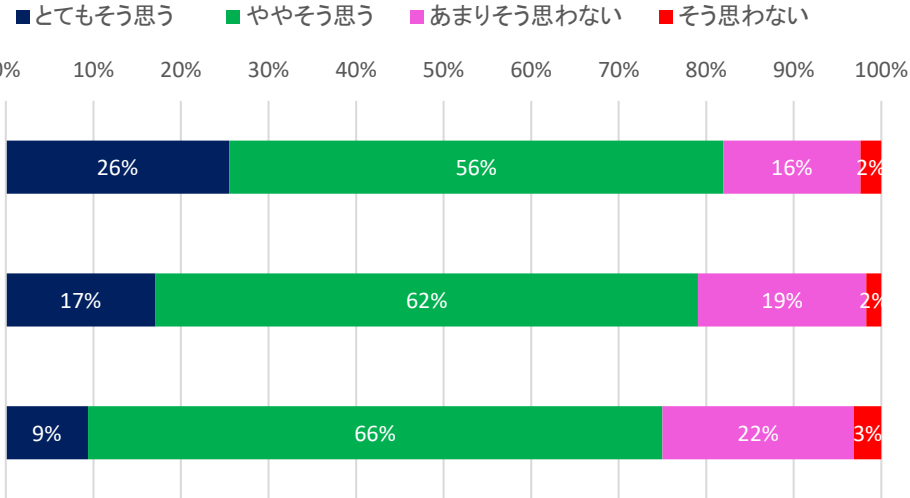


学校評価アンケート結果

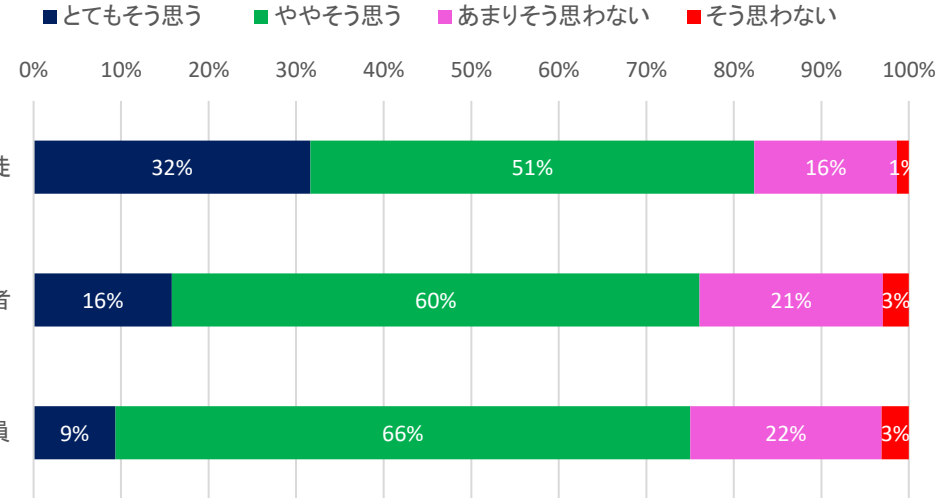
生徒 338人 中294人 回答
保護者 328世帯中229世帯回答
教職員 32人 中32人 回答

No. 2

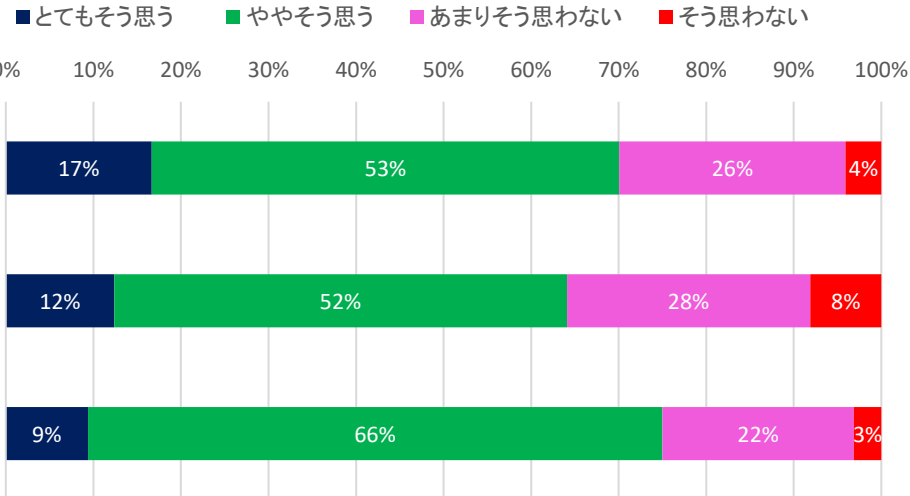
5. おおぐろの森中学校の生徒は、友人、家族、他の人のために行動している。(貢献)



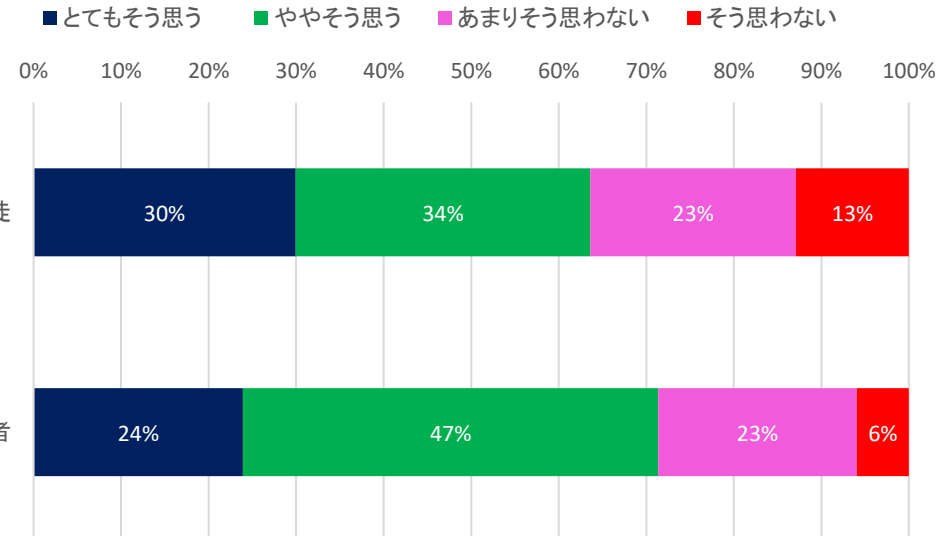
6. おおぐろの森中学校の生徒は、礼儀正しく心あるあいさつができています。



7. おおぐろの森中学校の生徒は、熱心に授業を受け、家庭学習にきちんと取り組んでいる。



8. おおぐろの森中学校の生徒は、家で学校のことをよく話す。

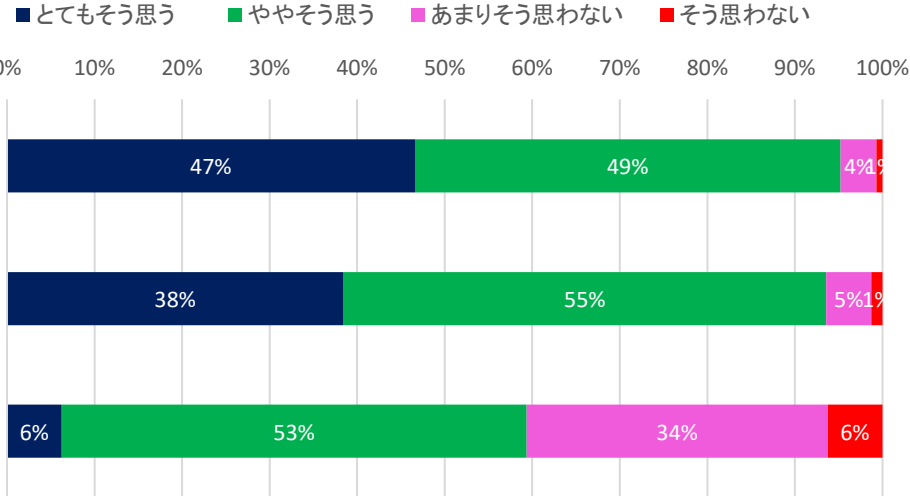


学校評価アンケート結果

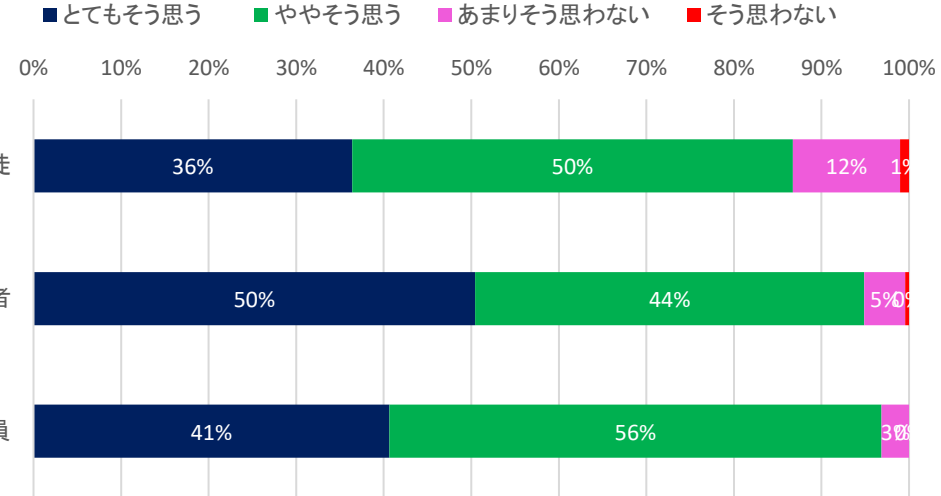
生徒 338人 中294人 回答
保護者 328世帯中229世帯回答
教職員 32人 中32人 回答

No.3

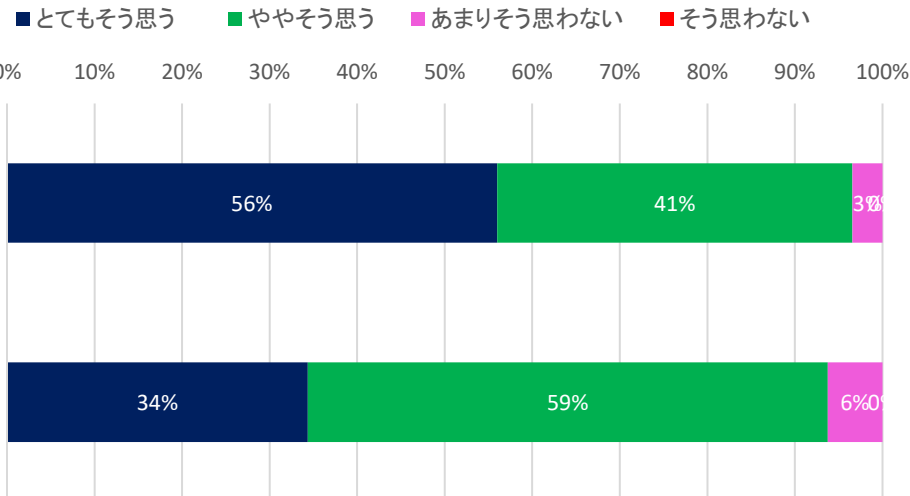
9. おおぐろの森中学校の生徒は、交通ルールを守り、安全に登下校している。



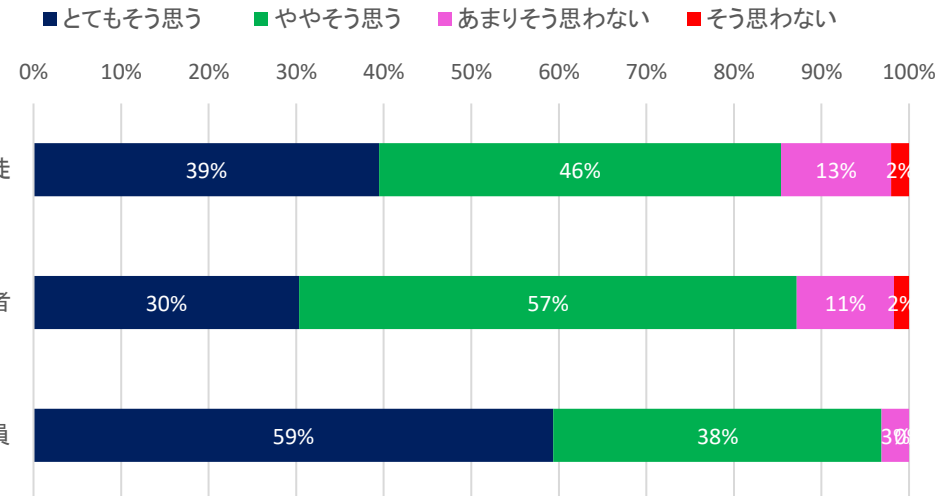
10. おおぐろの森中学校の教職員は、生徒一人一人に寄り添い、丁寧に話を聞いている。



11. おおぐろの森中学校の教職員は、保護者の話を丁寧に聞いている。



12. おおぐろの森中学校の教職員は、いじめを絶対に許さない取り組みを行っている。



学校評価アンケート結果

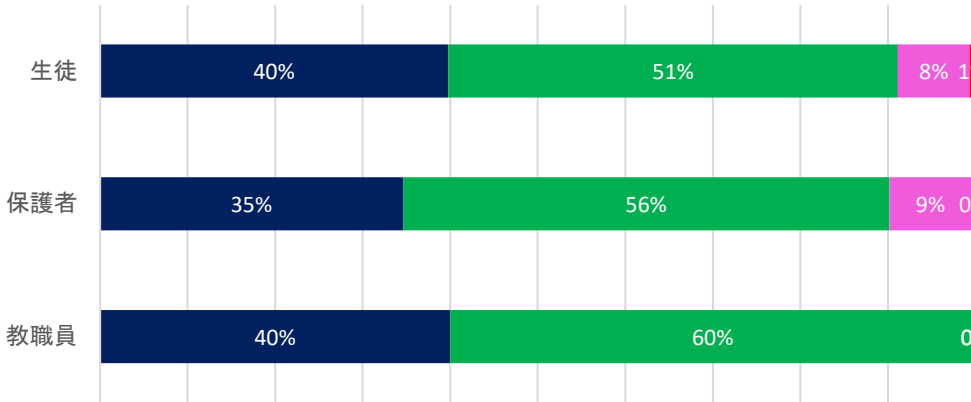
生徒 338人 中294人 回答
保護者 328世帯中229世帯回答
教職員 32人 中32人 回答

No.4

13. おおぐろの森中学校の教職員は、わかる授業・魅力ある授業への努力をしている。

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

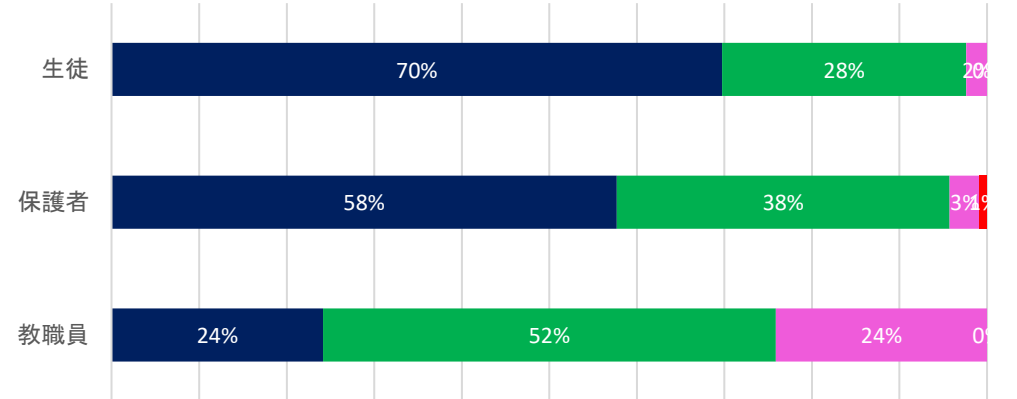
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



14. おおぐろの森中学校の教職員は、ICTを利用した授業(一人一台タブレット等)を積極的に行っている。

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

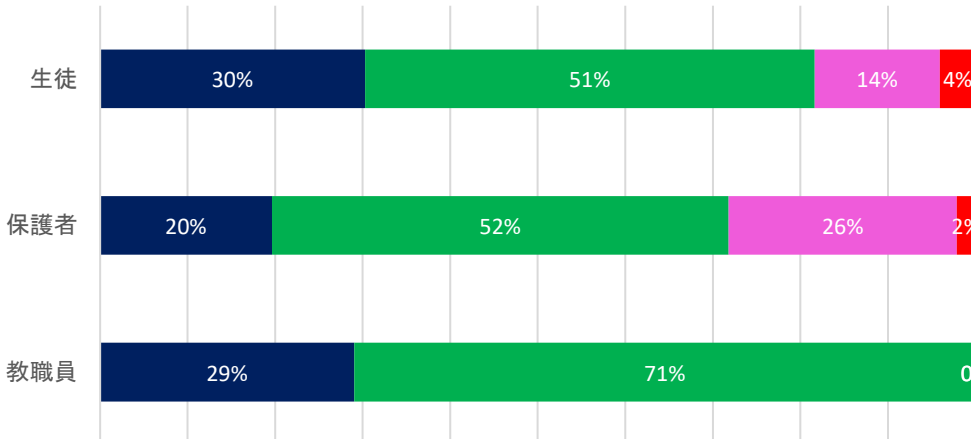
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



15. ICTを利用した授業に学習効果を感じている。

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

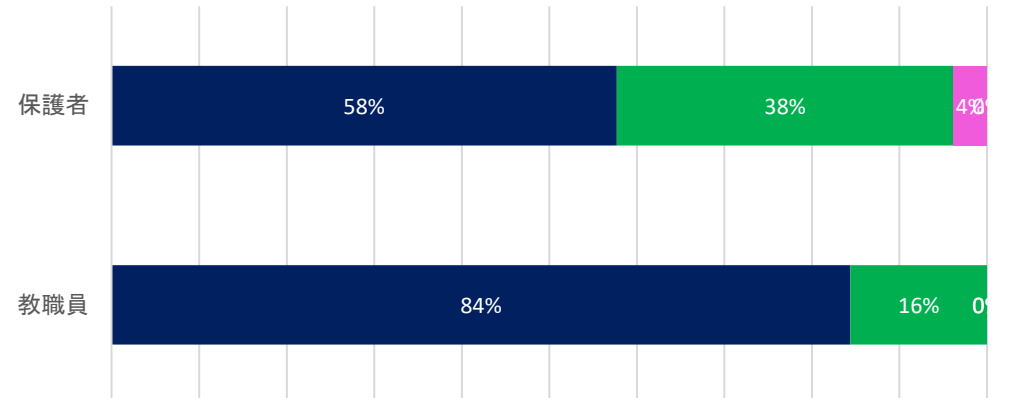
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



16. おおぐろの森中学校は、ホームページや学校だより等で、学校の取り組みを保護者に伝えている。

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



令和4年度 学校評価アンケート結果についての分析

★ 生徒、保護者、教師ともに80%以上肯定的な評価のもの

- | | | | | |
|----|--|-----|-----|------|
| 1 | おおぐろの森中の生徒は、楽しく学校に通っている。 | | | |
| | 肯定的に回答した | 生徒 | の割合 | 87% |
| | | 保護者 | の割合 | 85% |
| | | 教職員 | の割合 | 90% |
| 2 | おおぐろの森中の生徒は、自ら考え、選択して行動している。(自律) | | | |
| | 肯定的に回答した | 生徒 | の割合 | 83% |
| | | 保護者 | の割合 | 84% |
| | | 教職員 | の割合 | 97% |
| 4 | おおぐろの森中の生徒は、友達と力を合わせ、学習や学校行事に取り組んでいる。(協働) | | | |
| | 肯定的に回答した | 生徒 | の割合 | 91% |
| | | 保護者 | の割合 | 83% |
| | | 教職員 | の割合 | 87% |
| 10 | おおぐろの森中学校の教職員は、生徒一人一人に寄り添い、丁寧に話を聞いている。 | | | |
| | 肯定的に回答した | 生徒 | の割合 | 86% |
| | | 保護者 | の割合 | 94% |
| | | 教職員 | の割合 | 97% |
| 11 | おおぐろの森中学校の教職員は、保護者の話を丁寧に話を聞いている。 | | | |
| | 肯定的に回答した | 保護者 | の割合 | 97% |
| | | 教職員 | の割合 | 93% |
| 12 | おおぐろの森中学校の教職員は、いじめを絶対に許さない取り組みを行っている。 | | | |
| | 肯定的に回答した | 生徒 | の割合 | 83% |
| | | 保護者 | の割合 | 87% |
| | | 教職員 | の割合 | 97% |
| 13 | おおぐろの森中学校の教職員は、わかる授業・魅力ある授業への努力をしている。 | | | |
| | 肯定的に回答した | 生徒 | の割合 | 91% |
| | | 保護者 | の割合 | 91% |
| | | 教職員 | の割合 | 100% |
| 16 | おおぐろの森中学校は、ホームページや学校だより等で、学校の取り組みを保護者に伝えている。 | | | |
| | 肯定的に回答した | 保護者 | の割合 | 96% |
| | | 教職員 | の割合 | 100% |

★ 生徒、保護者、教師ともに評価が低いもの

- 3 おおぐろの森中の生徒は、自らの学習や生活の目標を設定し、自ら考え、選択して生活している。(自立)

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 生徒 の割合 26%
保護者の割合 34%
教職員の割合 19%

生徒自らが学習や生活の目標などをそれぞれがたて、自ら進んで行動できるような取り組みを考える。

具体的方策：ホームルームや学活等、学習の計画、学習の仕方、生活を行う上で
のマナー等自分で考えさせる場面を作る。

★ 生徒と教師のギャップが大きいもの

- 10 おおぐろの森中学校の教職員は、生徒一人一人に寄り添い、丁寧に話を聞いている。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 生徒 の割合 14%
教職員の割合 3%

教職員は、生徒一人ひとりの話を聞く時間をより一層確保する。

具体的方策：教育相談期間を継続させ、日常の話しやすい雰囲気づくりに努めるとともに担任以外の教職員も積極的に声をかけ、話を聞くようにし、生徒との心のふれ合いを醸成する。

★ 生徒、保護者と教師のギャップが大きいもの

- 9 わが子は、交通ルールを守り、安全に登下校している。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 生徒 の割合 4%
保護者の割合 7%
教職員の割合 40%

教職員は、地域の方々からの情報や具体的な安全な登下校の方法などを伝えていく。

具体的方策：自転車の乗り方教室や危険な自転車の乗り方などを紹介し、絶対に事故を起こさないよう意識を高めていく。

- 12 おおぐろの森中学校の教職員は、いじめを絶対に許さない取り組みを行っている。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 生徒 の割合 15%
保護者の割合 13%
教職員の割合 3%

教職員が見えていないことや気づいていないことがないか再確認を行う。

具体的方策：休み時間の生徒たちの様子や教育相談の中で生徒たちの変化に気づき、生徒達の日々の変化に気づけるようにする。

いじめ防止の授業を実施し、防止に向けた取り組みの強化を行う。

1 4 おおぐろの森中学校は、ICT を利用した授業（一人一台タブレット等）を積極的に行っている。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の	生徒	の割合	2%
	保護者	の割合	4%
	教職員	の割合	24%

ICT を利用した授業について、生徒や保護者から一定の評価を得ており、教職員は、引き続き、自信を持って行っていく。

具体的方策：教職員は、教科ごとに話し合う時間を確保し、お互いの ICT を利用した授業について確認を行う。生徒自らが考え、興味関心を持てる授業を ICT を利用し、さらに研究を進めていく。

★ 保護者と教師のギャップが大きいもの

1 5 ICT を利用した授業に学習効果を感じている。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の	保護者	の割合	28%
	教職員	の割合	0%

ICT を利用した授業についての学習効果について、保護者にわかりやすく説明する。

具体的方策：教科で取り組んでいる ICT 利用について、ホームページを利用し広く情報発信していく。ICT を利用することにより、生徒の学習に対する理解や思考を深めることができる場面を多く設定する。学習効果について検証していく。

保護者の提案

◎生活面について

	保護者からの提案	学校からの回答
1年	我が子にとっては、校則を設けないのは良い影響があると思います。 お陰様で、服装等も自分で考えて行動出来るようになってきていると感じます。	引き続き、生徒に考えさせ、生徒をサポートしてまいります。
2年	校則については、将来おおぐろ中に入る予定の保護者からよく問われます。ある程度のルールがあり、集団生活を送る上でルールを守りことも勉強、マナーをまず守ることなど、校則がないということに対する不安感が聞かれます	TPOに応じた服装や行動ができるよう、生徒に考えさせ、生徒をサポートしております。現在の生徒の様子や実態をみていただき、今後改善が必要な点があれば、ご意見をいただければと思います。
2年	子供達の自立や考える力を身につける為に、校則がないとは思いますが、ある程度のルールは必要だとは思っています。	ルールについてはマナーとして考え、生徒に考えさせ、ルールがなくても行動できるよう、生徒をサポートしてまいります。

◎学習面について

	保護者からの提案	学校からの回答
1年	受験のサポートや、将来をイメージするためのサポートをしていただけると有難いです。	キャリア教育については、プロフェッショナルに学ぶなど本物に触れ、生徒自身が感じ考えることができるようにしてまいります。キャリア教育の一つとして、進路指導も丁寧に行ってまいります。
1年	テスト2週間前に自分でテスト勉強の計画をするシステムは良いが、テスト前しか勉強しないので、日々の授業の復習としてプリントなどの宿題を出して提出させたりある程度の強制力をもって勉強の習慣づけをしてほしい。	テストの結果や日々の授業から自ら必要なことを考え、目標を持って取り組むことができるようにしてまいります。個別への対応なども引き続き、行ってまいります。
1年	義務教育という中で、決められたクラス（人間関係）の中で過ごすことに適応できない人（状況）もあると思います。 でも親としては学習が遅れてしまう心配があるのも正直な気持ちです。 そういう時にオンライン学習という選択があるのも良いのかなと思います。	学びの多様性については、個別に対応できるようにしていきたいと考えております。別室においてオンライン学習を使用するなど個別に対応できることは行ってまいります。

	保護者からの提案	学校からの回答
2年	ワークなどの提出課題はテスト直前の提出時に纏めて取り組んでいる状況になってしまっていて、テスト勉強の大部分を提出課題に割いています。ワークなどは授業の進行に合わせて計画的、段階的に取り組むようにして、テスト前にもう一度見直す、復習する位で取り組むように教職員から促した方が良いのではないかと。	ワークなどは、授業の進行に合わせて生徒自らが予習や復習に取り組めるよう指導してまいります。
2年	ネイティブスピーカーと関わる時間をもっと増やしてほしい(毎回授業に参加するなど)。また、英会話クラブなども設置してほしい。	ALTの時間割については、限られた時間数の中で各学級均等になるように割振りを行っております。現在のところ、英会話クラブの設置の予定はありません。
2年	放課後等に補習授業をしていただきたいです。また、放課後や長期休みに学校の空き教室を開放していただき、自習や先生に質問できると大変助かります。	長期休みの教室開放については、今後の検討課題にさせていただきます。
2年	テストがある一定の点数に届いていない場合、補習をして欲しい。ディスカッションを取り入れた授業も先進的で良いが、板書も多くして頂けるとノートに書き取り→テスト前にノートから復習、ができるので、リマインドしやすいと思う。	補習については、検討事項とさせていただきます。板書やノート整理にも取り組んでおり、学び合い学習とのバランスを考えた授業の在り方を研究してまいります。

◎教育相談について

	保護者からの提案	学校からの回答
2年	最近友人関係に疲労感を訴えます。このような機会に学校にお知らせでき、安心感があります。日頃定期的に、このような発信できる窓口をくださるとありがたいです。	学級担任や学年主任のほかに養護教諭、スクールカウンセラーなど生徒が話しやすく、相談しやすい職員と相談できる環境を作っております。
2年	先生たちが生徒に寄り添おうとしている姿勢は見受けられますが、先生によっては生徒から先生に話しやすい雰囲気を作れていないような気がします。中には先生のほうから声をかけてもらいたい(気づいて欲しい)と思ってる子もいると思うので、そこを見極めるのは難しいと思いますが、そこまで生徒を見てくれると思うと保護者としては安心です。	生徒や保護者の皆様としっかりとコミュニケーションをとれるように全職員で対応してまいります。困ったことや相談したいことがある場合には、どの教員に相談していただいても組織で解決に向けて取り組んでまいります。

◎学校の施設について

	保護者からの提案	学校からの回答
2年	校庭にある用具入れの倉庫に電気がない(もしくはつかない)ので、部活道具を片付ける際に暗く片付ける際に不便だと聞きました。倉庫内が暗いと道具を整理整頓出来ず、大切に使う事もできなくなるので、改善の程よろしく願います。	体育倉庫の電気につきましては、現在、流山市教育委員会学校施設課に依頼しております。

◎行事について

	保護者からの提案	学校からの回答
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・月行事などの予定表にある下校時間がもう少しわかりやすいと嬉しいです。 ・草取りや落ち葉はきなどのボランティアがまたありましたら日程が合えば協力できるのでよろしければまた募ってください。 	下校時間に関しては、月予定等お知らせしてまいりますが、最終下校時刻の案内となります。週予定(週報)で50分授業、45分授業の帰りの会終了時刻を確認できるよう配布するなど対策を考えてまいります。草取りや落ち葉はきなど、SchITメールにて募集をし今後も続けてまいります。ぜひご協力いただければと思います。
2年	林間、運動会などの写真選びがパソコンがないので、とっても大変です。	写真販売については、来年度以降も業者からの直接販売となります。写真選びについては、要望として業者に伝えます。
2年	<p>オープンスクールですが、1、2学期で5時間だったので、全部違った授業が観られたら良かったなあと思いました。</p> <p>今年度は様々な行事を参観でき、子ども達のキラキラした表情を間近で見られて感激しっぱなしでした。ありがとうございました。</p> <p>先生方の日々の努力と愛情に感謝申し上げます。</p>	授業参観については、できる限り違った授業となるよう調整し、行事についても参観いただけるよう工夫してまいります。今後とも積極的に御来校いただきますよう願います。
2年	<p>職場体験をやってほしい。</p> <p>やボランティア活動への参加。</p> <p>自転車通学が多いと思うので学区内の危険な場所、AEDの設置場所の地図などを取り組みとしてやってほしい。</p>	キャリア教育については、プロフェッショナルに学ぶなど本物に触れ、生徒自身が感じ考えることができるようにしてまいります。学区内の危険な場所やAEDの設置場所については、生徒会の活動として取り組みを考えてまいります。また、安全対策については、保護者、地域の活動としても御協力願います。

◎その他

	保護者からの提案	学校からの回答
1年	未だコロナ禍の収束の気配が感じられない中、積極的に子供達のために様々な取り組みをしていただき感謝しています。 登下校中の自転車のトラブルを改善するために学年毎に下校時間を前後させるなどは無理でしょうか。	一斉下校に関しては、学年ごとに時間をずらすなど工夫をしておりますが、今後も対応策について検討してまいります。
1年	長い間 マスクをつけていることで、子どもたちの（大人もですが）酸素不足による脳の発達への影響、口元が隠れているため表情を読み取ることができないコミュニケーション能力の低下、などが心配です。	厚生労働省のマスクの着用について（屋外では季節を問わず、マスクの着用は原則不要、屋内では距離が確保でき会話をほとんど行わない場合原則不要）指導しております。生徒自身がマスクを外すことに抵抗を感じていることに心配しております。学校とご家庭で連携しアドバイスしてまいります。
2年	新しいことを取り入れる傾向が著しいように思います。もちろん良いことですが、生徒や保護者が戸惑いを感じる部分もあります。新旧とり混ぜてアナログ部分も切り捨てないで欲しいと感じます。	不易と流行、引き続き大切なものは継続し、変化の激しい時代に対応できる生徒の育成に努めてまいります。
2年	感染症情報を公開してほしい。家庭内でも予防のフェーズを変更したり、症状が出て通院する場合に学校内の状況が分からないと伝えられない為。 草取りや図書作業など、学校ともっと関わりたいです	感染症情報の公開方法については、検討してまいります。 草取りや落ち葉はきなど、SchITメールにて募集をし今後も続けてまいります。ぜひご協力いただければと思います。
2年	学校前の関商店近辺のT字路の道路整備を早くやってほしい(市への要望になってしまいすみません)。	通学路の整備については、流山市教育委員会を通じ関係部署に要望しております。
2年	スキットメールが使いにくく行事予定や下校時間を調べるのに時間がかかって困ります。	行事予定や下校時間のお知らせについては、ホームページでのお知らせ方法を工夫していきたいと思っております。
2年	生徒が通常級で学習の遅れやコミュニケーションがとれる特化したクラスを作っただけだと願います。 学級に入ることができなくなった時に、フォローして受け入れる体制を考えて欲しいです。メンタル面のフォロー、道標を教えるようなクラスを希望します。	現在、学習支援室を利用しオンライン学習を行うなどしています。 来年度以降も空き時間のある教員などが対応することができるよう人員確保等教育委員会にも要望をあげ、できる限り対応できるよう検討してまいります。

参加者 民生児童委員 2名 保護者 3名

(1) 学校長より

- ・この度の学校評価アンケート及び皆様からの御意見を参考にし、令和5年度の学校運営を改善していきたいと考えています。忌憚のない御意見を願います。

(2) 学校評価アンケートについて (教頭)

- ・16項目のうち、8項目が80%以上の肯定的な回答が得られています。
 - ・生徒と教職員、生徒・保護者と教職員などのギャップがある部分に関して、改善が必要であると考えます。
- 御意見については、別紙の表のとおりです。

(3) 出席者からの御提案・御意見

- ・自転車の乗り方が危ないと感じる。事故が発生した時など SchIT メールを利用し、流してはどうか。
 - 現在全校生徒の74%が自転車通学です。マナーについての指導を引き続き行っていきます。
 - また、警察を招き、自転車運転教室を行いました。生徒指導主任から道路交通法について終業式などで集会を行っています。事故発生時の情報提供については、精査して保護者にお知らせしていきます。
- ・評価委員会に出席したいなど思いを持つ地域の方が多い。
 - 令和6年度を目途にコミュニティスクールを今後立ち上げていく予定です。地域・保護者が主体的に参画するような仕組みを作りたいと考えています。また、学校が担う部分、保護者・地域が担う部分を工夫して考えていきたいと思えます。
- ・校長先生の声地域（自治会等）に届けていきたい。
 - 学校でもホームページなど発信していますが、ぜひお願いしたいと思えます。
- ・ICTを活用している様子を見られてよかった。効果があると感じた。
 - ホームページ等で保護者に伝わるように発信しておりますが、より一層発信していきます。
- ・他の地区では、土曜日がオープンスクールなどを行っている。開かれた学校とするには一考の価値があるのではないか。
 - 来年度工夫をし、オープンスクールの回数を増やせるよう考えていきます。